



東京多摩みなみワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17

2021年
 1月号
 (第54号)

今月のことば

「無事は貴人
 (ぶじこれきにん)」
 臨済録
 (深尾香子選)

2020～2021年度 主題

クラブ会長 深尾香子「寄り添おう！青春。学ぼう！高齢化。」

東新部部長 加藤義孝(東京)「友情の絆を強め、YMCAを支えよう」

東日本区理事 板村哲也(東京武蔵野多摩)「変化を楽しもう！」

アジア太平洋地域会長 David Lua (シンガポール)「変化をもたらそう」

国際会長 Jacob Kristensen (デンマーク)「価値観、エクステンション、リーダーシップ」

《クラブ役員》会長 深尾香子 副会長 伊藤幾夫 直前会長 石田孝次

書記 小早川浩彦 副書記 田中博之 会計 綿引康司 担当主事 小野 実

(当クラブは、多摩市社会福祉協議会多摩ボランティア・市民活動支援センターの登録団体です)

今月の強調テーマ IBC / DBC (International Brother Clubs / Domestic Brother Clubs)

(国際兄弟クラブ / 国内兄弟クラブ)

1月例会プログラム

日時：1月5日(火) 19:00～20:30

会場：ZoomによるWEB開催

司会：小早川浩彦

- *開会および会長挨拶 深尾 香子会長
- *今月のことば 会長
- *ゲスト/ビジター紹介 会長
- *ゲストスピーチ 慈有塾代表 高木 実有さん
 ～多摩市における無料塾「慈有塾」
 の活動について～
- *2021-2022年度クラブ役員承認
- *チーム報告(農園、多摩社協、地域団体)
- *YMCA ニュース・連絡等
- *メンバー近況報告
- *ハッピーバースデー/アニバーサリー
- *閉会挨拶 会長

(WEB開催のため構成を一部省略しています。)

1月のHappy Birthday / Happy Anniversary

《誕生日》メネット：伊藤まゆみ(9日)、

石川佑子(26日)

《結婚記念日》石川良一(30日)

【巻頭言】「5周年の年に」

あけましておめでとうございます。
 2021年が皆さまにとって素晴らしい
 1年となることをお祈りいたします。
 今年、私たちのクラブは国際協会加
 盟5周年という節目を迎えます。新
 型コロナウイルスのパンデミックは、依然として予断を許
 さない状況ではありますが、与えられた環境の中で、皆
 の心と力を合せて、智恵と工夫をこらし、5周年を迎える
 に相応しい、良い活動が行えることを願っています。
 5年前の今頃は、クラブの設立と国際協会加盟(チャー
 ター)に向けての準備例会を重ね、どのようなクラブにし
 たいのか熱のこもった話し合いを行っていました。世の
 中の情勢やクラブの成長に伴って、5年前と変わったこ
 と、変えるべきことはありますが、私たちが、国際協会の
 不変のモットーである「強い義務感をもとう 義務はすべ
 ての権利に伴う」のもと、YMCAと地域社会のために全
 力を挙げて奉仕していくことは、いささかも揺らぎません。
 昨年のブリテン1月号の巻頭言でも書かせていただきま
 したが、入会式の式文にあるようにワイズメンであること
 の意味、ワイズメンに求められる資質の内、もっとも大切な
 のは、理想を持つことです。
 どうぞ、新年に際し、改めて、私たちの軸足を確かめ、ク
 ラブの豊かな将来像を心に描いていただき、その実現に
 むけて、ご一緒に良い年にして参りましょう。(田中博之)



12月例会	在籍12名 (内広義会員1名) 例会出席11名	出席内訳	メンバー 7名		BF		ファンド	
			メンバー	7名	切手	0g(今年度累計 0g)	オークション	0円
			メーキャップ	1名	使用済み切手、少しでもご持参ください		(今年度累計 0円)	
			出席率	73%	ぽんぽこファンド	0円	スマイル	0円
			メネット	0名	(今年度累計	0円)	(今年度累計	0円)
			ゲスト・ビジター	3名				

12月例会報告

12月1日(火) 19:00から、今年最後の例会が開催されました。当初はリアルで開催しつつ、Zoomにて会場を映すハイブリッド方式の予定でしたが、コロナ禍の現状を踏まえ、Zoomによるオンライン形式となりました。冒頭にて、今月のことばに代わり、川上牧師からクリスマスメッセージをいただきました。メッセージでは、Facebookで被災地情報を石巻から発信された「浜の旅」の内容紹介と併せて、クリスマスの意味をお話いただきました。



ゲストスピーチは、東京YMCA・西東京センター職員の沖津桃さんで、タイトルは「見えるもの、見えないもの」。リーダー達と関わる中で感じたことや、リーダー達への想いについて語っていただきました。当日、西東京センターではクリスマス動画の準備をされており、その場にいらしたリーダー2名にも、リーダーになって得た「気づき」について伺うことができました。(小早川記)



《出席者》「メンバー」7名：伊藤、小野、小早川、田中、深尾、藤田、綿引、「ビジター」2名：川上(石巻広域)、太田(東京町田スマイリング)、「ゲスト」沖津桃、「メーキャップ」石田

12月第2例会(運用会議)報告

12月7日(月) 19:00から、第2例会がZoomにて開催されました。定例審議事項では、1月例会のゲストに慈有塾の高木代表をお招きすることを決めた他に、ブリテン1月号に掲載する各種記事を整理しました。報告・確認事項では、農園で収穫した大根を地域団体

シェアマインドに寄付することと、多摩社協が主催するボランティア登録団体間の会議について、各担当からご説明いただきました。審議事項では、次年度のクラブ役員候補者の選出、東京町田コスモスおよび東京町田スマイリングとの合同開催によるwebでの3月例会検討、「3.11希望の凧揚げ」の10周年イベントの開催場所相談、農園維持でお世話になっているメンバーへのお礼など、様々な内容が話し合われました。(小早川記)

《出席者》6名：石田、伊藤、小早川、田中、深尾、綿引

今月のスピーカー

高木 実有 さん(一般社団法人 慈有塾代表)

中央大学法学部卒業。2008年から学習ボランティアとして活動、NPO法人ポラリスプロジェクトジャパン(現:人身取引被害者サポートセンターライトハウスに改称)を経て、2014年『慈有塾』を設立。仕事をしながら、もう一度勉強をやり直したい若者たちを対象に、無料塾(主に高等学校卒業程度認定試験(高認)・大学受験対策)である慈有塾をボランティアとして運営している。

公示:2021-2022年度クラブ役員候補者

12月第2例会(役員会)で話し合い、次期クラブ役員候補者を選出しました。1月例会で承認を受けます。

会長候補



伊藤幾夫

副会長候補



安藤慎次

書記候補



田中博之

会計候補



綿引康司

直前会長



深尾香子

担当主事



小野 実

第2回東新部評議会の報告

11月21日(土) 13:00~16:00、Zoomによるオンライン評議会が開催されました。参加者は23名、審議事項は、以下の5点でした。

- ① 2020-2021 年度第 1 回評議会議事録の確認
- ② 次々期部長、次期監事指名委員会指名承認
- ③ 第 24 回東新部大会報告
- ④ 次期役員承認の件
- ⑤ YMCA 支援献金報告



③については、わがクラブの深尾会長が実行委員長となり、コロナ禍の中でリアルと Zoom のハイブリッドの部大会で成功裏に終了したことを伊藤が報告しました。④については、松香次期部長から発表があり、今後さらに検討していくことになりました。⑤については、コロナ禍で支援が必要と判断して、東京 YMCA に 10 万円、在日本韓国 YMCA に 5 万円、東京 YMCA ポジティブネットへ 5 万円の献金を承認しました。報告事項では、各事業主査、クラブ会長などから報告がありました。わがクラブからの出席は、石田、小早川、伊藤の 3 名でした。(伊藤記)

東新部 EMC セミナーのお知らせ

東日本区では、会員増強を目指して、Change! 2022 プロジェクトを展開していますが、コロナの影響で各クラブは苦戦を強いられているというのが現状です。東新部では、下記のように、「EMC セミナー」を計画しています。発題はわがクラブの石田さんと伊藤の 2 名です。石田さんからは、「ワイズメンズクラブがより魅力的になるために(仮題)」、伊藤からは、「どうして会員増強が必要なのか(仮題)」の発題を予定しています。

日時：2021 年 2 月 20 日(土) 13:30~16:30

会場：東京 YMCA 東陽町センター

※セミナーの形式は、コロナの状況次第で変更する可能性もあります。予めご承知下さい。(伊藤記)

BF 切手について

使用済みの切手がある方は、1 月中に担当の藤田までご連絡ください。2 月 15 日(月)が提出期限となっております。少しでも結構ですので、よろしくお願ひします。BF とは「Brotherhood Fund」の略で、BF 代表や国際役員の方公式旅行の費用に充当するために、全ワイズメンが積み立てる基金です。集めた使用済みの切手を換金し、無から有を生み出すことが、この活動の原点です。ご協力をお願いいたします。(藤田記)

後期クラブ会費納入のお願い

ワイズメンズクラブは 1 月から後期となりますので、後期の会費納入をお願いします。金額は 2020 年 7 月号のプリテンでお知らせした通り、今期から半期 18,000 円となりました。コロナ禍で集まっていたの例会が行えませんでしたので、下記口座へ振込み下さい。

金融機関名 多摩信用金庫 桜が丘支店

口座番号 普通預金 0251660

口座名 東京多摩みなみワイズメンズクラブ
(会計・綿引記)

ぼんぼこ農園便り

12 月というのに小春日和のような日差しの中、午後からぼんぼこ農園に出向き久しぶりに峰岸さんを誘い、佐々木さんと 3 人でブロッコリーのテスト収穫をしてきました。量が少なかったので試食用にと帰り道に周辺に住む何人かのメンバーの家に採れたてのブロッコリー他を届けて来ました。ブロッコリーは、葉っぱは勢いよく広がりますが、茎の部分は、中々大きくなりません。2~3 週間後に再収穫ができればと思っています。今回初めてブロッコリーの栽培に挑戦しましたが、生命力が強くて何とかやり遂げられたのかなと思います。ただ、生育過程での手間は結構かかりました。収穫量とのバランスで言うと微妙なところですよ。(笑)



カリフラワーは、まだ収穫するには少し早い状況でした。同時期に植え付けた白菜とキャベツは、ブロッコリーに挟まれながらも順調に育っています。春には収穫可能だと思います。また、その後に植え付けた玉ねぎもしっかり根付き、越冬と春先の熟成期間を経て梅雨入り前には収穫時期を迎えるはずですよ。楽しみは膨らみます。(石田記)

YMCA ニュース

担当主事 小野 実

いつも YMCA へのご協力に感謝いたします。

◆東京町田 YMCA30 周年

1990 年に開設された東京町田 YMCA が 30 周年を迎えました。当初は、町田駅近く拠点で、英会話スクールや国際キャンプなどの地域活動を行なっていま

したが、2003年からは拠点をもたないYMCAとして、会員有志により「ベテランティア・フォーラム（中高年ボランティア講習会）」、「歌声ひろば」、「わくわく科学実験教室」などを実施しています。長年ボランティアとして活躍されている12名に菅谷総主事から感謝状が贈呈されました。

<今後の主な行事日程>

◆第15回子育て講演会

「子どもの心をのぞいてみませんか」

日程：2021年1月16日（土）10：00～11：30
（オンライン）

講師：柴田愛子氏（りんごの木子どもクラブ代表）

◆「熊本豪雨災害復興支援チャリティーコンサート」

日時：2021年1月29日（金）19：00開演

会場：日本基督教団霊南坂教会

出演：青山学院女子短期大学グロリアス・クワイア
（ハンドベル）、飯靖子氏（指揮・オルガン）、
飯頭氏（ヴィオラ）

◆ピンクシャツデー講演会「大人も学ぼう！いじめの構造と解決策」

日時：2021年1月30日（土）13：30～15：30

講師：ストップいじめ！ナビ弁護士チーム
（金子春菜弁護士・足立悠弁護士）

会場：山手センター（オンライン参加もあり）

プランター栽培講座トライアルの感想

9月から11月にかけて、Zoomで行われた全5回のプランター栽培講座。クラブメンバーである藤田さんの指導の下、皆で野菜の栽培に取り組みました。当クラブだけではなく、近隣クラブの方々にもご参加いただきました。以下、順不同で参加者の感想を掲載いたします。（小早川編）

松香光夫（東京町田コスモス）：多摩みなみクラブから、プランター栽培のお誘いがあったのは、我が家の日当たりの悪い庭に花の苗を植えた頃でした。その頃、町内の道端に花を植えようとしていた時でもありましたので、花を野菜に置き換えて、藤田先生の指導もあてにしながら、栽培を始めたのです。適当な数の苗を、石田さんにお運びいただいたりして、周到なお世話の元、数種類の野菜を楽しみました。土と光の条件が悪くて、育ちのよい結果にはなりませんでしたが、早めに味噌汁の具になったりして、みんなも頑張っているのかなあと思いを巡らしたりしました。お世話をありがとうございました。今も、年を越す元気なイチゴを見ながら、春を待っているところです。良いお年を！

権藤徳彦（東京町田コスモス）：『プランター栽培講座』は、実に楽しい、発見の多い企画でした。みずみずしい緑が、秘められた時のプログラムによって、ぐんぐん育ち、収穫して戴けるのは、何とも爽快でし

た。その成長の见えないところで、土壌菌類が、せつせと良い土壌を作り出し、しっかり整えられたプランターにパッケージされた成長のメニューの見事さ。水と陽光と受ける葉緑素、「自然の美しさ」には、つまみ採りのおいしさと共に、感激でした。講師の「藤田智先生」に感謝していますよ。「東京多摩みなみクラブ」の企画開発のご努力、素晴らしい活動アイデア、喜びの事業への発展を祈っています。

小口多津子（東京八王子）：先日、夕食の鍋料理に収穫した春菊を食べた時の家族の一声、えっ？春菊ってこんなに甘いのでした。スーパーのとは全然違うとのこと。私はひとり指を鳴らしました。毎日プランターをのぞき、葉に触れて、水をやり、そんな気持ちが春菊を甘くしたのかな、と思いました。栽培講座はスタートからとても丁寧でした。毎回講座に提出するレポートに代わる、生育中の写真の提供を講師の藤田智先生が批評下さり、先生のユーモアあふれる批評でどなたの野菜も立派に見えてきます。私は講座を受けてから、これまでひとまとめで言っていた野菜ではなくて、春菊、白菜、大根という個性のあるものということを感じました。講義中の藤田先生の一言、「いいですか、プランターに種を蒔く時は、必ず家の周りを見て、空を見て下さい。近くの木の枝で鳥が見ている、その種を狙っていますから、周りに鳥がいらないのを確かめてから土に蒔いて下さい」が忘れられません。有難うございました。

石田孝次：このトライアル講座は、実講座開催のお試し版として自クラブと多摩周辺にお住いの他クラブの会員を対象に声掛けをし、計14名の方々に参加いただきました。見切り発車のところはありませんでしたが、みなさんのご協力と参加意欲が大きな支えとなって回を重ねるごとに真剣みが増し、自分が植え付けたプランター野菜の成長を眺め、変化を体感するにつれ参加者の目は輝きを増し、また、藤田先生の雰囲気醸し出すアットホームさがZoomの画面越しに伝わりってきました。みなさんから送っていただいた生育写真一覧の寸評は、場が和み、品評会さながらの賑わいすら感じられました。例会は「楽しい所」。ワイズは「楽しみな集まり」を呼び起こしてくれたそんな「場」に変わっていました。これこそが、企画段階で求めてきたところであり、次のステップへと飛翔する予兆を肌感覚で感じ取ることができました。

伊藤幾夫：コロナ禍の中で、クラブ活動として何ができるのかを考えて生み出された「プランター栽培講座」は、すばらしい成果だったと思います。講師の藤田智さん、企画担当の石田孝次さんの尽力に感謝します。今後の多摩みなみクラブの目玉事業となると思います。私も初めてプランターで野菜（サニーレタス、ミニ大根）を栽培し、生育した野菜を食べたときの感動はひとしおでした。

綿引康司：はじめての野菜づくり、失敗ばかりでした。ちゃんと育った大根は発育不良と勘違いして早めに抜いてしまい、白菜やイチゴは枯れてしまいました。朝忙しく、水やりを忘れてたり、十分な管理ができなかったりした結果です。また、プランターが猫のトイレになっていたとの噂もありました。次回の講座ではリベンジしたく、そのために家族の応援を今から頼んでいます。

田中博之：藤田さんの良きご指導のお陰で、無事収穫ができました。春菊、レタス類、小松菜は、まだ毎日

のように食卓を賑やかせています。勇気を持って間引きすること、追肥と土寄せの大切さを学びました。今は、最後に蒔いたキヌサヤの収穫を楽しみにしています。



一般の方に呼び掛ける「本番」は、苗や種の配布をどうするのがポイントだと思います。対面での講座を基本にし、Zoom や動画配信で補完するのが良いと思いました。

新たな年に向けて(深尾会長・新春のご挨拶)

「明けましておめでとうございます」というのは、毎年多少のワクワク感とともに、ひたひたと、またせわしなくやって来るものと思い込んでいました。しかし、2020年から2021年にかけての年末年始は、悉く「ずらし〇〇」で遣り過ごさねばなりません。忘年会、買い出し、年越し、初詣、その後の正月行事の数々。誰もが緊急事態宣言から開放されたあの春先には、この状況を想像することは出来なかったはず。この原稿を書いている12月22日現在、医療現場から緊急事態宣言がなされ、「各人、出来ることは全てやるように」との通達がありました。さて、手を洗い、マスクを装着して、ワイズとして次は何をするか。1月は兄弟クラブを意識する月だといいます。明けて今夏、5周年を迎える我がクラブにとって、東京町田コスモス、東京町田スマイリング、東京八王子、東京武蔵野多摩は、公的手続きを行ってはいないけれども、最も近くて、何かあれば助け合える仲間があります。さらに目を転じれば、次の同心円にも多くの先輩方の顔が浮かびます。こんな絆、普通の社会人生活をしていたら、とてもとても築けるものではありません。我々の内の多くは、社会奉仕を志して入会したわけですが、ここに来て、懇親を目的としたクラブライフとはこういうものなのか。ということに気付かせて来ました。緩やかでほのぼのとした関係性は、一見生産性に欠けるかにみえますが、世の中の他の異業種交流会では味わえない信頼の絆でつながって

います。これこそが、これから必要とされるもの。ワイズメンズクラブの本当の力だと信じます。最後になりますが、「今月のことば」の「無事是貴人」とは、臨濟禅師の言葉で、「どのような状況にあっても、目の前のことをあるがままに、当たり前のようにこなしていける人こそが貴ぶべき人である」という意味です。これまでは年の瀬に当たり、1年の無事を感謝し、互いに喜びを共有して来たこの言葉ですが、2021年には、感染症とそれを巡って起きた大きな試練に向かって、皆で打ち勝つ事が出来るように願いを込めて掲げます。

国際会長ニュースにぼんぼこ農園、プランター栽培講座の記事が掲載されました

国際本部発行の「国際会長ニュース」2021年1月号に当クラブのぼんぼこ農園、プランター栽培講座の記事が掲載されました。

コロナ禍の中にあっても活動を続けているクラブ事業の好例として、国際会長から寄稿の要請があったものです。

東日本区ウェブサイトの下から、日本語版を読むことができます。

<https://www.ys-east.or.jp/ip-news/>

(田中記)

これからの予定

- ・1月11日(月) 19:00～ 1月第2例会
 - ・2月2日(火) 19:00～ 2月例会
 - ・2月8日(月) 19:00～ 2月第2例会
- (東新部部長公式訪問)

※いずれもZoomにて開催予定